



Contents

1: どうしてもものを大切にすべき?

2: ものを長く使うためには?

3: パタゴニアがパタゴニアの服を買う!?

4: どうしてそんなことをはじめたの?

5: 古着を着よう!

6: 「WORN WEAR」プロジェクト

A Woven History

どうしてもものを大切にすべき?

私たちが生きていくには、空気と水、食べ物、住まい、そして、暑さや寒さから体を守ってくれる衣類が必要です。また、衣類はくらしを豊かにする、大事な存在。その衣類をつくるには、いろいろな資源が使われ、さまざまな人々がかかわっています。だから本当に着られなくなる日まで、愛情をもって大切に使用しなければなりません。

2 USE IT FOR LIFE
ものを長く使うためには?

ものを大切に長く使うようになると、そんなに多くのものは必要ではないことに気づきます。破れたり、壊れたりしたものは修理して、本当に使えなくなるまで使う。体が大きくなって着られなくなったものは、弟や妹、自分より小さなお友だちに着てもらう…。これまでにパタゴニアの取り組みをとおして、ものを大切にするために大事な「5つのR」を学んだけど、みんなはどのくらい覚えているかな?



5つのR

REDUCE

【1】リデュース=むだを減らす

REPAIR

【2】リペア=修理する

REUSE

【3】リユース=再び使う

RECYCLE

【4】リサイクル=つくりなおす

REIMAGINE

【5】リイマジン=未来を考える

3 Patagonia to Patagonia

パタゴニアがパタゴニアの服を買う!?

タンスを開けてみると、昔はよく着たけど、もうあまり着なくなってしまった服があることに気づきませんか? タンスに眠っているパタゴニアの服を見つけたら、パタゴニアのお店に持って行って、リユース先を教えてください。



そして!

パタゴニアがパタゴニアの古着の買い取りもはじめるというのです! これまでのお店は、製品をお客さんに売る場所でしたが、これからは、お店とお客さん、そして新しいお客さんへと、製品を循環させていくというもの。そうすれば製品はより長く、たくさんの人々に愛されるというわけです。

Why? 5R'S & REASONABLE REASONS

どうしてそんなことをはじめたの?

- リサイクルだけでは衣類の環境問題は解決できません
- 着られる状態なのにタンスにしまったままの服を、他の人にゆずる機会をつくりたい
- 質が高ければ長く使いつづけられることを伝えたい
- 古いものでも大切に使用すれば価値があることを伝えたい
- 資源を地域社会でシェアするという考えを広げたい
- 大量に生産し、販売、廃棄するという経済を変えたい



ものを大切にすることがあれば、世界をかえられるんだ!

NEW IS OLD 古着を着よう!

みんなはだれかのおさがりを着たり、だれかが大事にしていたものをいただいたことはありますか? 古いものには、新しい製品とはことなる魅力があります。新しい製品のように、古着は同じものが存在しないから、サイズや色、形…自分に合うものを探すのも楽しみのひとつ。それにパタゴニアの古着なら、アウトドアで活躍する丈夫なものばかりだから、古着といっても、さらに長く使えるというわけです。



from
patagonia
パタゴニアより

パタゴニアでは「レスポンシブル・エコノミー：責任ある経済」というキャンペーンをはじめます。消費によって経済を成長させてきた結果、現在、私たちは地球1.5個分の資源を使っています。つまり、未来の世代が必要な資源を先に使っているのです。このキャンペーンでは、みんなと一緒に「責任ある経済」とはどんな姿なのか考えていきたいと思ひます。その取りくみのひとつとして、9月からアウトレット東京・目白にて通常のパタゴニア製品とは違ったリメイク品などの販売がスタート。来春からは中古衣料の買い取りもはじめる予定です。

WEAR IT OLD & LONG 「WORN WEAR」プロジェクト



パタゴニアの製品を愛用してくれている人たちの声を世界中の人たちに紹介したい! 「WORN WEAR」とは、パタゴニア愛用者から届いたメッセージをウェブサイトで紹介するプロジェクトです。

エピソード:1

モンタナ州在住 シャリ・ウィリアムソンさん



「おさがり」

このフリース・ジャケットの最初の持ち主がだれかは知らない。タグに手書きされた名前前で、知っているのは数人。このジャケットは、5人の子どもの成長を見守り、私の2人の娘のもとにやってきたの。数年前に手放したけど、いまでもだれかのもとでおさがりとして活躍してるはず。おさがりの伝統を活かしてくれるパタゴニアに感謝しているわ。



エピソード:2

ウェスト・バージニア州在住 アナ・ロイドさん

「ザ・デュード」

アウトドア好きの両親のもとで育った私にとって、冒険はめずらしいことではなかった。私のお気に入りの父からゆづってもらったこのブルーのシンチラ・スナップT。父につけたあだ名「ザ・デュード」にちなんでこれもそう呼んでいるわ。そして、これまでもこれからも「ザ・デュード」とともに冒険に出かけるの。



wornwearjapan.patagonia.com

DESIGN: JERRY UKAI

patagonia

環境に与える不必要な影響を
最小限に抑えたものづくり

1973年、アメリカ・カリフォルニア州ベンチュラで設立。アルパインからサーフィンまで、機械に頼らないアウトドアスポーツのための丈夫で機能的なウェアを製造・販売する。『最高の製品を作り、環境に与える不必要な悪影響を最小限に抑える。そして、ビジネスを手段として環境危機に警鐘を鳴らし、解決に向けて実行する』というミッション・ステートメントのもとに製品づくりをしている。

Patagonia 2013 Fall/Winter collection



POCO MUCHO 20L
#48565 ¥7,350 (税込)

キッズ用バックパックのなかで最も大型。ベーシックなメインコンパートメントを備え、小物の収納に便利なフロントポケットと、メッシュのサイドポケット付き。



BABY HI-LOFT DOWN
SWEATER HOODY
#60490 ¥15,750 (税込)

ベビー用ダウン・ジャケットのなかで最も保温性に優れたフーディ。防風性に非常に優れたポリエステル製シェルはデリュージ DWR (耐久性撥水) 加工されている。



BABY RETRO-X JACKET
#61025 ¥12,600 (税込)

13ミリの厚手のポリエステル・パイル・フリース (リサイクル・ポリエステル 75%) に、防風効果のあるポリエステルの裏地を施したベビー用ジャケット。

オンラインショップで全製品をご覧ください。patagonia.com/japan

【お問い合わせ】 パタゴニア日本支社 カスタマーサービス ☎ 0088-252-252